

1 当該学年・学期等における探究課題 《地域の課題を発見し、解決に取り組む》

2 単元名 『井原市活性化プロジェクト』（全23時間=実施時期：5月～10月）

3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け（主な素材・活動等）を明確に

- ★ いろいろな調べ方を知り、見通しをもって自ら進んで情報を集めることができる。【情報活用能力】
- ★ 自分の考えや思いをさまざまな表現方法で理由を示しながらまとめたり、伝えたりすることができる。【思考力・表現力】
- ★ 調べた内容を、人前で分かりやすく伝えることができる。【思考力・表現力】
- ★ 目標をもち、自分の生活や社会の中に生かすことができる。【自己理解・自信・自律】
- ★ 他者と協働して課題を解決することができる。【協働する力】

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと（こと）」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		1・2年で学習してきたことを整理して地域の課題について分析し、学習課題を設定する。	チームごとに設定した課題について調べる。	調べてきた情報を分類整理する。	井原市の活性化に向けた具体的な取り組みを考え、地域に発信する。
引き出したい姿	いばら愛 <small>(郷土愛と当事者性)</small>	1・2年で学習してきたことを整理する中で、井原の魅力を再発見する。	設定した課題を調べて行く中で、「いばら愛」を育む。		地域に発信することで、「いばら愛」を育む。
	やり抜く力 <small>(忍耐と向上心)</small>			情報を収集する中で、ふるさと井原の未来を想像し、自分たちにできることを考える。	
	まき込む力 <small>(発信と協働)</small>				
仕掛け・工夫	もの	1年の時に作成した『るるぶる』を活用する。	実際に地域に出向き、現地調査をする。		井原放送などに発信の協力を依頼する。
	ひと		地域や家族から話を聞く。	地域の方からアドバイスをもらう。	
	しごと（こと）				
アウトプットの工夫		・クラス発表をした後、反省をもとに内容を改善し、全体発表へとつなげた。			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

国語・道徳

6 他学年、他校（園）種、外部団体との連携・接続・交流

井原市商工会議所 井原放送

◆単元のねらい「井原市の現状を把握し、夢や願いを叶えるため、「①井原の観光」「②井原の農林業」「③井原の商工業」「④井原のまちづくり」の4つの視点からプロジェクトを考え、発表することで『いばら愛』を育む。

時数	学習内容
1	【学習課題1】井原市活性化プロジェクトについて知る。
2	・井原市活性化プロジェクトの内容とその進め方について知る。 【学習課題2】地域の人話を聞いて、現状と課題について整理する。 ① 地域の人話を聞く A 井原の観光... 2組 B 井原の農林業... 3組 C 井原の商工業... 1組 D 井原のまちづくり... 4組 ② 聞いた話を整理する。
3	【学習課題3】井原市の活性化に向けたプロジェクトを考える。
4	① 井原の「観光・農林業・商工業・まちづくり」のプラスとマイナスを考える。
5	② 井原市の活性化に向けた工夫を考える。
6	③ 井原市を活性化させるための具体的な取り組みを話し合う。 個人で調べたことや考えた内容を共有する。
7	④ グループで考えた内容を整理し、まとめる。
8	⑤ グループごとに、具体的な取り組みをレポートにまとめる。
9	⑥ 発表の仕方を考え、準備をする。
10	
11	【学習課題4】井原市活性化プロジェクトを発表しよう1<クラス発表>
12	① クラス内で、井原市の活性化に向けた取り組みを発表する。 ② 今回の発表の反省を元に、次回の全体発表に向けての準備をする。
13	【学習課題5】井原市活性化プロジェクトを発表しよう2<全体発表>
14	グループごとに、具体的な取り組みを発表する。

◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- ・コロナ禍に関わらず、市役所の様々な課の方に協力していただき、探求への活動につながった。
・生徒が主体的に活動でき、4つの視点（観光・農林業・商工業・まちづくり）から学習することができた。
・繰り返し発表する場を設けることで、発表が苦手な生徒にも発表ができた。
- △ ・校内の発表に留まり、地域へ発信できなかった。
- ☆ ・3年間見通した計画的な取り組みが必要である。（その年ごとの計画となっていた。）